

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	大和郡山市		代表者名	上田 清	
担当者部署	総務部		連絡先電話番号	0743-53-1167	
担当者役職	係長	担当者氏名	大江 拓資	連絡先E-mail	
住所	6391198 奈良県大和郡山市248-4				

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	松浦 龍基
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	第1回目、第2回目の打合せにて調整した内容に加えて、直近の情報を踏まえてアップデートした内容で講義していただきました。時間配分や説明の分かりやすさ共に申し分ありませんでした。研修後には一部の受講者から「分かりやすかった」との声が漏れており、大変有意義な研修となりました。
アドバイザーへの要望事項	特にありません。次回またこのような機会があれば是非お願いしたいと思います。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり		
	令和5年9月22日	講演(実地)	無		
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
			10時00分	11時30分	10
			活動時間（分）	80	
3-2. 派遣場所	会場名	大和郡山市役所	最寄駅	近鉄郡山駅	
	所在地	奈良県大和郡山市北郡山町248-4	最寄駅からの交通手段	徒歩	

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可	https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past_year_all_houkoku/
------	--------------------------------------	---

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	各職員	40 人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	9/22のDX研修に関する打合せ デジタル人材不足に係る確保、育成 業務のデジタル化による改善 職員のDX推進に向けた意識が低い など	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	上記課題の解決	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	自治体情報システムの標準化・共通化における担当課の当事者意識向上 マイナンバーの利活用 AI・RPAの利用事例	
支援を受け改善又は解決された内容（具体的にご記入下さい）	DX研修を開催し、受講者の知識及び意識の向上を行った	

具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑦その他
	今回受講できなかった職員についても内容の把握ができるように研修内容を録画した動画ファイルを作成した	
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	特になし	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。	
	アンケートの結果、受講者の大半が理解および意識の向上につながったという回答であった。この結果が自治体DXの推進につながっていくと考える。	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿	自治体DXの推進に向けた各職員の意識改革	

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

